

2012 年度事業計画

1. 荒川クリーンエイドの運営

【事業方針】

1. **【流域全体での活動】** 源流は埼玉県秩父市から河口の東京湾において、流域全体で荒川クリーンエイドを運営する。
 2. **【年間参加者数の更新】** 2011 年と同様、年間参加者数の記録更新（11,224 人以上）を目指す。
 3. **【国際海岸ゴミ調査（ICC）への参加】** 国際的なゴミ調査活動に参加し、荒川が荒川で終わらない活動に寄与する。
- ※ 年複数回実施する団体に対しては、ゴミ調査を任意とする。ただし年 1 回かつ 9・10 月の ICC 期間中については調査を実施いただくこととする。

【主な計画事項】

① 数えるゴミ拾い

2012 年度も散乱ゴミ、粗大ゴミについて、数えるゴミ拾いを実施する。

② 主催会場の運営

「24 時間テレビ」チャリティー委員会や下平井水辺の楽校と共催するなど事務局も主催会場を運営する。

③ 特定テーマのゴミ拾い及び発生抑制キャンペーン

「荒川ペットボトル大捜索！」及び「マイボトル de ゴミ拾い。」を継続し漂着ゴミの発生抑制を推進する。

④ 実施説明・体験会の開催

秋に大々的に開催し、特に初めて実施する団体やキャプテン等の担当者が交代する団体などは必ず参加いただくよう依頼し、運営方針や実施方法を共有していく。

⑤ 活動のサポート

企業や中・高等学校などの実施団体の要望に応じて、事務局スタッフを中心に活動のサポートを行う。

⑥ 活動報告会

2013 年 2 月には、2012 年の活動の成果を共有すべく、報告会の開催を予定する。

2. 生物多様性の保全

【事業方針】

1. **【里川創造に寄与】** 江戸川区小松川自然地に照準を絞り、東京都新しい公共モデル事業と連携しながら、東京らしい里川の創造を推進する。
2. **【絶滅危惧種の復活を模索】** 絶滅危惧種の復活指針を様々な関係者とともに模索する。

【主な計画事項】

① 里川創造プロジェクト

地域住民等が利用できる里川の思想を置いた自然環境の創造の手始めとして、小松川自然地において、地域住民や企業等を巻き込んだ環境教育プログラムを実施する。

実施に当たっては、「里川小松川自然地協議会¹」の構成団体として、率先して提案・提言を行う。また、当協議会の事務局を ACF 内に置く。

¹ 東京都新しい公共モデル事業の採択に伴い 2012 年 1 月に設立。江戸川区土木部計画課水と緑の推進係、江戸川・生活者ネットワーク、下平井水辺の楽校、中土手に自然を戻す市民の会、NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラムの 5 団体で構成される。

※ 足立区西新井橋上流右岸の大規模自然地でも小松川自然地同様、里川創造プロジェクトの可能性を模索する。

② 絶滅危惧種の復活プロジェクト

荒川河川敷某所のヒヌマイトトンボの生息地において、個体数や生息環境のモニタリングを行う。個体数については、確認漏れを軽減するため、モニタリングルートの整備を計画する。また、生息環境については、河川水の流入・維持といった水辺環境の継続について定期的に観察する。また、秋の終りには、地元団体等と一斉に、生息地に隣接するヨシ原でヨシの刈り込みを行い、生息地の拡大を視野に入れる。

3. 環境教育の推進

【事業方針】

1. **【総合学習・青少年教育支援の実践】** 江戸川区小松川自然地への誘致を中心に、周辺の学校と環境教育プログラムを実践する。
2. **【人材育成に有効な社会研修の模索】** 環境・CSR 部門のみならず、人事部にとっても有効な人材育成プログラムを模索する。

【主な計画事項】

① 小中学校の「総合的な学習の時間」支援

総合的な学習の時間をターゲットに水辺の学習を支援する。

② 青少年育成

下平井水辺の楽校等の流域団体と連携し、荒川下流の自然地で親子向けイベントを開催する。

③ 新入社員研修支援

荒川クリーンエイドを活用した社員研修プログラムの開発と普及を進めるとともに、チームビルディングやダイバーシティなど、人材育成に有効なプログラムを企画し、テストケースを実施する。

4. 水質調査の実施

【事業方針】

1. **【全国一斉調査への参加】** 6月の第一日曜日午前10時を中心に、荒川本流と流域各地の身近な川や池などで行う。
2. **【秋のクリーンエイド時の水質調査】** 秋のクリーンエイド会場近く（荒川本川の流れの中心部か橋の中央部から採水）で実施する。

【主な計画事項】

① 身近な水環境の全国一斉調査への参加

荒川本川及びその支川、また、流域各地の川や池などで調査を実施する。調査項目は温度とCOD（低濃度）のみとする。データを取りまとめて全国水環境マップ実行委員会事務局に送付する。また同実行委員会に参加して、今後に向けての検討を行う。

② 秋のクリーンエイド時の水質調査

秋のクリーンエイド実施時に、荒川本川およびその支川での調査を実施する。調査は、温度、COD、pH、アンモニア態窒素、硝酸態窒素、亜硝酸態窒素および、透視度などとする。さらに必要な団体には必要器材の貸与を行う。

5. 流域連携

【事業方針】

1. **【源流での新たな可能性模索】** 水源涵養林の活動において下流域の市民団体の役割を模索する。
2. **【中流の市民団体との関係維持】** 従前のシンポジウム等を共催し魚の行き交う川づくりを盛り上げる。
3. **【荒川自然懇談会でのモニタリング】** 他市民団体と分担しての自然地モニタリングを進める。

【主な計画事項】

① 「荒川自然懇談会」を通じた荒川下流河川事務所との協働

当フォーラム役員が多数参加する荒川自然連絡会と荒川下流河川事務所との間で行っている「荒川自然懇談会」を官民協働の場とし、生き物のモニタリングを、他市民団体と分担し、推進する。

② 荒川流域再生プロジェクトへの参加

NPO 法人荒川流域ネットワークを中心に同プロジェクトが実施する「荒川流域再生シンポジウム」を共催し、「アユ遡上支援作戦」に参加し、流域連携による「魚の行き交う川作り」を推進する。

③ 荒川源流エコツアーの企画・実施

荒川源流部の原生林や二次林の荒廃を防ぐために流域市民はどうすべきか、今年も源流域を視察し住民や市担当者等と交流して、鹿の食害対策や源流域木材の活用などについて参加者の理解を深める。

6. 他セクターや全国・世界とつながる活動

【事業方針】

1. **【埼玉県との連携強化】** 従前の活動を維持継続し、引き続き埼玉県との連携を図る。
2. **【リバークリーンエイドの始動】** 全国的な川ゴミ調査構想樹立に向けた活動を始動する。
3. **【国際海岸ゴミ調査への参画】** JEAN を通じて日本、世界へのゴミの現状把握に貢献する。

【主な計画事項】

① 埼玉県河川環境団体連絡協議会及び川の再生交流会への参加

荒川クリーンエイドは埼玉県内の河川団体の連合体である埼玉県河川環境団体連絡協議会（埼玉河連）に参加する。さらに、埼玉県が主催し、同協議会が協力する「川の再生交流会」に参加するなど、引き続き埼玉県内での連携をはかっていく。

② 他河川の団体と共同【全国リバークリーンエイドの展開】

ゴミ拾いやゴミ調査が推進され、ゆるやかな全国の河川のネットワークや構築されることを目的に、市民によるゴミ拾いやゴミ調査が展開されている河川へ、当会が培ったノウハウを提供し、漂着ゴミの他河川の状況把握の方法を模索する。

③ 一般社団法人 JEAN との協力

世界の海洋ゴミ調査データを補完するため、春及び秋のクリーンエイドのゴミ調査結果を提出する。結果の活用や調査方法の修正などについては、随時 JEAN と共有し、荒川のゴミ調査が世界のゴミの発生抑制に寄与されることを促す。

7. 広報・情報発信

1. **【広報活動の徹底】** 主にホームページ等を使用して参加者広報を更に充実させる。
2. **【ゴミデータを用いた情報発信の徹底】** プレスリリースを積極的に発信し、メディアへのアプローチ

を更に強化する。

[主な計画事項]

① ホームページ

最新情報や各詳細コンテンツの充実を図るとともに、見やすい情報を提供できることを念頭に置く。

② ニュースレター

テーマ性を重視し、コストを削減しながらタイムリーな話題を提供する。

③ Eメールニュース

毎月1回の配信を継続する。

④ 報告集【アニュアルレポート】

データ・活動報告等をコンパクトに集約し、各活動の意義や効果を見やすく示す体裁を検討する。

⑤ ポスター【荒川クリーンエイド2012】

秋のクリーンエイド活動を周知する内容とする。

⑥ リーフレット【荒川クリーンエイド2012】

駅や公共施設などのラックに置くことを念頭にA4版サイズのものを使用する。

⑦ プレスリリース

参加者募集に加え、ゴミの発生抑制を目的に発信する。ゴミの発生抑制の意義について、荒川クリーンエイド参加者だけでなく、広く社会へ発信することを試みる。

8. 組織運営

1. 【認定NPOへの申請】 認定NPO法人への申請を行うことを検討する。

2. 【ファンドレイジングの強化】 効果的な運営基盤強化、自主財源基盤の強化に一層の努力を継続する。

3. 【連絡会等を開催】 会員と円滑なコミュニケーションを図る。

[主な計画事項]

○認定NPO取得

認定NPO法人への申請を行い、法人格を取得することを検討する。

○ファンドレイジング（資金調達）

春の新入社員研修企画など自主事業化できるサポートサービスを強化する。また、認定NPOへの申請を目指し、企業・団体に対して活動への寄付・協賛の依頼を積極的に行うなど自主財源基盤の強化に努める。

○連絡会の開催

当会のフォーラム活動の報告会および次年度の活動計画を目的とする連絡会を2013年2月頃に開催し、参加者とコミュニケーションを図る。

○事務局員の強化

事務局においては、年度当初は、2名の専従職員と2名の非専従職員により運営するが、採用活動を通して専従職員1名の増員を念頭に置く。

2012 年度活動報告の概要一覧(予定)

事業	活動名		実施日・会場
1 荒川クリーンエイド の運営	春のクリーンエイド		4～8月
	秋のクリーンエイド		9～12月
	マイボトル de ゴミ拾い。		4～12月
	実施説明会・体験会		9月8日(土) 千住新橋上流右岸・足立区生涯学習センター
	主催会場の運営		4月8日(日) 下平井水辺の楽校 6月3日(日) 江戸川区小松川自然地
	報告会		2月中旬に予定 北区北とびあ
2 生物多様性の保全	里川創造 プロジェクト	モニタリング イベント	奇数月に各1回実施 4月後半～6月前半、9月後半～12月前半
	絶滅危惧種の復活プロジェクト		4月～翌3月
	小中学校環境学習支援 社員研修プログラム		年間約20回程度を予定 通年
3 環境教育	身近な水環境の全国一斉調査		6月の第一日曜日を中心に一斉調査
	秋のクリーンエイド時水質調査		9～12月に予定
4 水質調査	荒川源流エコツアー		9月1日(土)・2日(日) こまどり荘
	荒川流域再生シンポジウム		シンポジウム共催 8月及び2月
	荒川自然懇談会		随時
5 流域連携	埼玉川の再生交流会		1月もしくは2月を予定
	リバークリーンエイド		随時検討
	一般社団法人 JEAN		随時
6 他セクターや全国・世 界とつながる活動	ポスター・リーフレット		8月制作予定。部数調整中
	報告集		3月発行。部数調整中
	ホームページ		随時更新
	ニュースレター		4,10,1月に発行
	Eメールニュース		月1回計12回の発行を予定
	プレスリリース		年4回程度の配信
7 広報・情報発信	第13回定期総会		5月19日(土) 荒川知水資料館
	理事会・運営委員会		随時開催
	次年度活動連絡会		2月中旬に予定 北区北とびあ
8 運 営	第13回定期総会		5月19日(土) 荒川知水資料館
	理事会・運営委員会		随時開催
	次年度活動連絡会		2月中旬に予定 北区北とびあ

以上